

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

保育園番号	66-0437
園名	広尾上宮保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

木育・木の楽器に触れる

<テーマの設定理由>

昨年度に引き続き木育活動を通して、子どもたちが木の素材や自然に親しみ、触ったり、組み立てたり、においをかいだり、音を聞く、奏でる体験を通して五感の発達を促す。

2. 活動スケジュール

第一回目：R8.1.29（木）10：00～11：30

かんなくずプール・端材ワークショップ・木の楽器に触れる

※第二回目は3月6日に4歳児クラス対象で昨年度に引き続き、講師による、やじろべいのワークショップを行った。

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・全クラスを対象に園庭で行った。昨年度も体験しているので覚えている子もいて、スムーズに取り組むことができた。
- ・かんなくずプールは「おふろみたーい！」「いいにおい！」と出たり入ったりを繰り返し、異年齢同士でも関わり合いながら楽しんでいた。昨年にと比べると、慣れた様子でダイナミックに遊ぶ子もいた。
- ・端材ワークショップは、それぞれ好きな端材を選び、クレヨンやボスカで絵を描いたり色を塗った。くっつけたい子は「くっつけやさん」のところへ行き、グルーガンで好きな形にくっつけてもらい、色々なものをイメージしながら楽しんでいた。何個も作る子もいて、とても集中して行っていた。特に「ペンダント」が人気で、首にかけて友だちや保育者に嬉しそうに見せていた。
- ・楽器は、カスタネットや丸太で作った「マキンバ」（マリンバ）等があり、音色の変化を不思議そうに感じている様子の子がいたり、「おもしろいおとがするね！」と嬉しそうに音を鳴らして遊ぶ姿が見られた。



4. 振り返り

- ・昨年度も経験している子どもたちは活動内容を覚えている様子で、安心してスムーズに参加する姿が見られた。自然素材に親しみながら、異年齢児同士の関わりも広がり、思い思いに楽しむことができていた。
- ・かんなくずプールでは、木の香りや感触を全身で味わいながら、友だちと一緒に埋もれたり掛け合ったりしながら、開放的に遊びを楽しんでいた。
- ・端材ワークショップでは、思い思いの作品づくりを楽しんでいた。創造力や表現する楽しさを十分に味わっていた。
- ・木の楽器コーナーでは、音の違いや響きを楽しむ様子が見られた。叩く場所や力加減によって変わる音色に不思議そうな表情を浮かべる子もあり、木ならではの温かみのある音に親しむ機会となった。
- ・今回の活動を通して、子どもたちは木の香りや感触、音などを五感で感じながら、自然素材に親しむことができた。また、自分なりにイメージを膨らませて表現したり、異年齢児と関わりながら遊んだりする中で、豊かな感性や主体性が育まれていることを感じた。